



ひよこだより

都立大塚ろう学校 乳幼児教育相談
平成31年1月10日 NO. 10

あけましておめでとうございます

年末、年始 元気に過ごすことができましたか？

大掃除、年越しそば、おせち、お年玉、初もうで、年賀状、かがみもち、お雑煮、おじいさんおばあさんと会う、などなどたくさんのかたの経験をしたいと思います。写真もたくさん撮ったのではないですか。

せっかく経験してもそれだけではとてももったいないです。早めに写真をプリントアウトして「年末」や「お正月」として写真カードを作ったり、写真絵本にまとめたりして振り返り、お子さんの頭の中に経験を残すようにしておきましょう。まとめておけば今年の年末、来年のお正月に使えますね。また、いつでも見ることができるようにしておくと、一年に1度の経験が大切な宝物になっていきます。

冬の発見

少し寒いですが、外に出てみましょう。冬にしか見れないものがたくさん見つかります。朝早く土の部分を見ると霜柱があります。土から氷が出ていてとてもきれいです。霜柱をとってみると細い柱のようですね。踏むとサクサクしていて面白いです。都会ではなかなか見つけることができませんが、本校の校門に入ってすぐ右の花壇でも寒い日には霜柱を見つけることができます。ぜひ探してみてください。

お子さんと一緒に、夜バケツに少し水を汲んで外に出してみてください。朝になると凍っています。水が冷たく硬い氷になったことや、この氷を部屋の中に入れて置いておくとまた水になること。不思議ですね。雪が降ったときも雪の塊を部屋に入ると溶けてなくなります。絵本やお話、テレビのコマーシャルにもこのような場面が出てきます。大人には当たり前のことです。でも子供にとってはどうでしょう。実際に経験してイメージをもてば雪が溶けてなくなるという面白さもよく分かるようになります。



最近、朝起きると窓に結露がつきぬれていたり、窓が白く曇っていたりすることも多いです。結露の水をタオルで拭いて集めたり（お手伝いにもなりますね）、白い窓にお絵かきをしたりすることも冬にできる遊びです。2歳児さんになったら春まで続けて暖かくなると結露がなくなり窓が曇らないことを知るのもいいですね。後に学校で学ぶ生活科や理科への興味にもつながっていきます。

外に散歩に行ったときに葉っぱが落ちた木を見てみましょう。秋にはついていた葉っぱがないこと、枝をよく見ると葉っぱの赤ちゃんが出ていることを一緒に発見してみましょう。葉っぱの赤ちゃんはだんだん大きくなっていきます。このような変化をゆっくり見ていくこともやってみると楽しいです。

勉強の力の基礎は、小さいころから積み重ねてきた経験やことばで培われてきます。まだまだ小さいひよこ組さん、ことり組さんですけれど、今の時期にやれることをしっかりやっていくといいです。たくさん楽しく遊ぶこと、たくさんコミュニケーションをとること、日々子供が「わかる」生活をしていくこと、本を読むこと、経験したことをしっかり頭の中に残るようにしていくこと、などなど。一年の初めにお子さんとどんなことをするか目標を立ててみることも大切です。大塚ろう学校のひよこ組、ことり組では今年もお子さんがしっかりと成長ができるように、お母さん方お父さん方の子育てのお手伝いできればと思っています。

今年もどうぞよろしく願いいたします。

(文責 海保)